



上海日本人学校高等部の進路実績と協力大学について

上海日本人学校 高等部 校長 小堀 紀明

1 はじめに

上海日本人学校高等部は、上海で活躍する企業の方々の子女に対して上海の地で高等学校教育を提供し、義務教育終了後も慣れ親しんだ上海の地で家族とともに暮らす環境の確保が強く望まれている中で、上海日本商工クラブを中心に各方面の皆様のご尽力により設立されました。本校が目指す教育は「グローバルな教養と世界に通用する学力をもつ生徒」を育てることであり、教育目標として「志を高くして自ら

学ぶ国際人を育成する」を掲げています。

この度、「上海明天」に寄稿する機会をいただきましたので、設立時に進路の面で大きく関わっていただいた上海高等部協力大学会議(コンソーシアム)を含め近年の進路状況について報告します。

2 高等部卒業後の進路状況

高等部に在籍する生徒のほぼ全員が、卒業後の進路として大学進学を希望しています。高等部では生

徒の希望に応えることに加え、国際化する社会で活躍できるグローバルダイバーシティ人材となってもらうため大学合格がゴールではなくスタートであるとの考えのもと、1年次からキャリア教育に取り組んでいます。

左のグラフは過去3年間の大学進学者における入試制度活用状況の変化です。(現役合格者のみ掲載)

近年、協力大学をはじめとした推薦制度等を利用して大学進学をする生徒が増える傾向にあります。推薦制度を利用する場合、志望動機や大学で学びたい内容、大学卒業後の進路等について明確な目的意識を持つとともに、その内容を論文や口頭で説明できることが求められます。これらは、本校のグランドデザインと一致するものであり、協力大学をはじめ各大学から評価いただいている内容です。まさに、上海という立地を生かした教育活動の強みでもあります。

なお、今年度から推薦入試が「学校推薦型選抜」、AO入試(アドミッションオフィス入試)が「総合型選抜」、一般入試が「一般選抜」と名称変更されています。

3 学校推薦型入試における進学

上海日本人学校高等部を設立するにあたり高等部の教育に賛同いただいた11校の大学より上海高等部協力大学準備会議(現上海高等部協力大学会議)を発足していただき、卒業後の進路確保の面からご尽力いただきました。

今年度はCOVID-19感染防止の取り組みのためオンラインでの実施になりましたが、毎年、上海高等部協力大学会議からは生徒の進路実現に向けて大学説明会を実施していただいたり、講演会の講師を派遣いただいたりするなど、生徒のキャリア教育にご協力いただくとともに、協力大学(12大学)として推薦入学枠をいただいています。

また、本校卒業生が進学した大学での活躍が評価され指定校推薦枠を6大学からいただいています。(2021年度入試)

(1)協力大学推薦及び推薦入試(指定校)の状況

右の表は今年度(2021年度推薦枠)、各大学からいただいている本校が推薦できる人数と、過去3年間(2017年度~2019年度)に各大学に各推薦制度を利用して進学した生徒数を示したものです。これらの推薦制度は本人が希望する大学に対して、本校で定めた推薦基準に加え、各大学が求める推薦基準を満たしている生徒を推薦するものです。

結果からは、いただいている推薦枠が埋まっていない状況も散見されます。

※2021年度推薦枠数は2020年度3年生が対象となります。

	大学名(50音順)	2021年度推薦枠数	2017~19年度進学者数
協力大学	関西学院大学	16	10
	芝浦工業大学	4	2
	上智大学	3	9
	千葉工業大学	2	3
	中央大学	3	4
	中京大学	5	7
	東京理科大学	2	2
	同志社大学	5	11
	南山大学	5	3
	日本体育大学	8	4
	法政大学	3	8
	立教大学	1	3
指定校枠のある大学	亜細亜大学	1	0
	学習院大学	1	0
	神戸親和女子大学	12	0
	武蔵野大学	5	0
	立命館アジア太平洋大学	2	0
	早稲田大学	1	3

(2)その他の入学試験制度利用の状況

協力大学や指定校枠のある大学以外に進学を希望する生徒は、公募による推薦制度を利用したり、AO入試を利用したりしています。公募による推薦は各大学が定めている推薦基準を満たしている生徒に対して学校長が推薦するものです。公募による推薦制度を過去3年間(2017~2019年度)で7名が利用しました。

また、AO入試は、数回の面接を行ったり論文やエッセイなどを提出したりするなど学力以外の多様な学力を評価する選考方法です。AO入試を利用して進学した生徒も過去3年間で10名いました。

さらに、一般入試にチャレンジし進学した生徒は上記3年間で15名おり、北海道大学や首都大学東京、

慶應義塾大学、青山学院大学等に進学しています。

4 終わりに

上海日本人学校高等部は今年度創立10年目を迎えますが、設立当初の目的を達成するために、全教職員が協力して教育活動に取り組んでいます。多様化する生徒の進路実現を目指して、学校推薦型選抜や総合型選抜における面接論文指導、一般選抜における大学入学共通テスト等への対応など少人数教育の利点を生かして生徒一人ひとりに必要な指導、支援を行っています。

これからも、生徒、保護者、地域、社会の期待に応える教育活動を行ってまいります。皆様のご支援助ご協力をお願いいたします。

入試制度活用の変化

